

**令和6年度
第1回地域振興会議会長会議事概要**

日 時：令和6年8月7日（水） 14：00～15：30

場 所：鳥取県立青谷かみじち史跡公園
青谷町総合支所 多目的ホール

〔各地域振興会議〕 16名

会 長：山田会長(国府)、上山会長(福部)、竹田会長(河原)、西川会長(用瀬)
小谷会長(佐治)、河根会長(気高)、小川会長(鹿野)、長谷川会長(青谷)
総合支所：山川国府支所長、米澤福部支所長、九鬼河原支所長、太田用瀬支所長
下田佐治支所長、中原気高支所長、岡本鹿野支所長、佐々木青谷支所長

〔説明者〕 1名

鳥取県立青谷かみじち史跡公園 職員

〔本庁関係〕 1名

市民生活部 河口部長

〔事務局〕 3名

市民生活部地域振興課 山名課長、有田課長補佐、松浦会計年度任用職員

【会議次第】

- 1 鳥取県立青谷かみじち史跡公園の施設見学
- 2 開 会
- 3 あいさつ
- 4 内 容
 - (1) 鳥取県立青谷かみじち史跡公園を活用した地域活性化の取組紹介
 - (2) 地域振興未来会議設置要綱について
- 5 閉 会

議 事 概 要

1 鳥取県立青谷かみじち史跡公園の施設見学

2 開 会

3 河口市民生活部長あいさつ

4 内容

(1) 鳥取県立青谷かみじち史跡公園を活用した地域活性化の取組紹介

(説明：青谷町総合支所 佐々木支所長)

質疑応答

(山田会長) 青谷上寺地遺跡クラブは何人ぐらいの活動人数か？また、本日の青谷かみじち史跡公園で説明された方は施設の職員なのか、青谷上寺地遺跡クラブのメンバーか？

(佐々木支所長) 現在の青谷上寺地遺跡クラブの活動人数は 40 名。本日施設の説明をされていたのは、施設の嘱託職員。

(山田会長) ガイドクラブのメンバーの活動場所はどこで、具体的にどのような活動をされておられるのか？

(河根会長) 青谷上寺地遺跡クラブに所属しているメンバーなので、説明させていただく。主な活動内容として、青谷かみじち史跡公園の施設では、古代体験の補助や時々展示の解説等をしている。定期的に歴史文化の学習会を開催しており、年 2 回県外研修に行つて遺跡の見学や、ガイドの学習をしている。また、史跡公園周辺の田んぼの草刈りや、県のスーパーボランティアの活動として、コスモスの植栽の手入れ等をしている。

(山田会長) いなば国府ガイドクラブに所属しているが、活動内容などがよく似ていると感じた。

(河根会長) 大変素晴らしい施設ができたが、団体で来られた際に食事をするところが周辺に無いことや、閑散期の来場が少ない期間どういう風に盛り上げるかなど、まだまだ今後の課題はあるので、検討していきたい。

(上山会長) しっかりとした建物ができ、人の集まれる場所があるのは、羨ましいと感じた。

資料の青谷周遊MAPを拝見し、知らないところがたくさんあり気になった。例えば、このMAPにQRコードを入れて、さらに詳しい説明が見えるような形にすれば、関心のある人がSNSに上げて、そこから新たな人を呼び込む仕掛けができ、なお良いと思った。

(2) 地域振興未来会議設置要綱について (説明：鳥取市地域振興課 山名課長)

質疑応答

(長谷川会長) 実施計画案はいつまでにまとめればよいか？

(山名課長) 今年度末までにまとめていただきたいと考えている。現在、支所ごとに進捗の差はあるが、順次進めていただいている。

地域未来プランは、地域の目指していく未来像を文面で示したもので、それを具体化する事業を実施計画で示すという形式。例えば、新市域振興ビジョンでは、文面があつて、個別具体的な事業が列挙された実施計画があつたが、それをイメージしていただきたい。

(長谷川会長) 各地域が年内ぐらいまでに、概要をまとめれば良いか？

(山名課長) 今年度末の 2 月議会で、各地域の特色を生かした計画について報告をしたいと考えているので、それまでにはまとめていただきたい。

(竹田会長) 委員の人数の構成について、女性の割合に関する規定があるが、ある程度、柔軟に考えていただきたい。

(山名課長) 委員構成の割合は、市が定めている「審議会等の設置・運営等に関する基準」において、公募委員の割合は全体の 2 割以上、女性委員の割合は全体の 4 割以上となるよ

う努めるとされており、この基準に沿って規定したものである。

これまで、地域振興会議もその基準に沿って運用していたが、地域振興未来会議においては、委員構成の要件を緩和したので、これまで以上に女性委員を選任しやすくなるのではないかと思う。地域活性化に向けて積極的に活動をされている女性も増えており、そういった方を選任して、会を盛り上げていただきたい。

(河根会長)

地域未来プランの計画期間が5ヶ年という事だが、地域課題にしてもプランにしても5年で大きく変わることはあまり無いと思う。時代に応じて新たな課題が出てくると思うが、あくまでもベースとなる部分を踏襲しながらやっていくしかないと思っている。

実施計画の段階でどうしても予算との絡みが出てくる。委員の方から提案があっても、予算的な裏付けが無いとなかなか実現しない。委員の考えをそのプランの中はどう生かしていくか。実際予算が付かないと何もできない、という意見も出るので、その辺の兼ね合いをどういう風に考えていけばいいか教えていただきたい。

(山名課長)

少なくとも、今年度策定していただくプランについては、スケジュール面で既存の事業や、既に年次計画で着手が決まっている事業が中心となってくると思う。

今後、新たな地域の課題に対応するもので、行政が対応すべきもの（支所で予算計上するものを中心になってくると思うが）は計上していく必要があるが、全て行政で対応するということは難しくなっていくと思う。

やはりこれからは、官民連携や、関係人口の創出等といった視点が必要になってくると考えており、行政と民間事業者と地域住民、さらには関係人口等による新たな担い手が、しっかりと連携していくことが重要であると考えている。

ある地域では、「行政の役割・地域の役割・民間事業者の役割」を明確にしながら、地域の未来像を描かれているところもあった。そういった事が今後は必要になってくると考える。

(山田会長)

令和7年4月1日から、地域振興未来会議がスタートするが、周期についての想定はあるのか？

もう一つ、プランの作成は今それぞれの総合支所で進んでおり、尚且つ今年度中に出来上がり、それを受けて地域振興未来会議の方で進捗管理をするという事でしょうか？

(山名課長)

周期については、明確な期間を設けないが、委員任期が2年で、そのタイミングで会議のあり方、改善するべき点は改善していく事になる。

プランについては、それぞれの支所ごとに、支所の方が中心になって準備を進めていただいております、プランの中身については各地域振興会議の中で意見交換をしていただき、ご議論いただきたい。

(有田補佐)

ご意見・ご質問ありがとうございました。今後はこの設置要綱に基づきまして、来年4月から就任される新しい委員さんの公募・選任を行います、選任にあたっては、会長さんにご助言、ご協力を賜る部分も出てくるかと思いますが、よろしくお願い致します。

以上で、第1回地域振興会議会長会を閉会します。ありがとうございました。

5 閉 会